



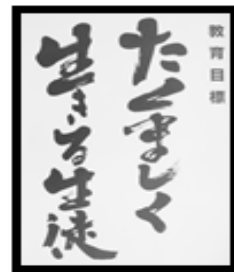
令和5年

2月13日 発行

第 11 号

学校評価特別号

(担当 谷川)



後期学校評価と今後の方策について

当校では、教育目標「たくましく生きる生徒」の育成を目指し、「確かな学力の向上」「社会性の育成」「家庭学習の習慣化」を教育課題として日々取り組んでいます。12月に実施した、生徒と保護者とのアンケート集計結果がまとまりました。今後は、アンケート結果について全職員で共通理解を図ります。また、数値結果が不十分であった項目や前期と比べて数値が下がった項目については改善点を明らかにして、今後の教育活動を進めていきます。ご家庭におかれましても、ご理解とご協力をお願いいたします。

※「前期」は令和4年度7月実施

1. 確かな学力の向上

普段の授業では、学習課題が示されている。		1年生	2年生	3年生	全体	評価	
1	「あてはまる」「ややあてはまる」	後期	97%	97%	99%	97%	A
	【評価基準】	前期	98%	97%	98%	97%	A
A：95%以上 C：90%以下							
普段の授業では、最後に学習内容を振り返る活動を行っている。		1年生	2年生	3年生	全体	評価	
2	「あてはまる」「ややあてはまる」	後期	78%	74%	82%	78%	B
	【評価基準】	前期	81%	68%	78%	75%	C
A：80%以上 C：75%以下							
国語・社会・数学・理科・英語の授業はよく分かります。 (5教科の平均)		1年生	2年生	3年生	全体	評価	
3	「あてはまる」「ややあてはまる」	後期	90%	81%	94%	88%	B
	【評価基準】	前期	89%	80%	92%	87%	B
A：90%以上 C：85%以下							
授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ。		1年生	2年生	3年生	全体	評価	
4	「あてはまる」「ややあてはまる」	後期	90%	85%	96%	90%	A
	【評価基準】	前期	88%	84%	93%	88%	B
A：90%以上 C：85%以下							

【結果から】

「学習課題の提示」は、前期同様に高評価でした。「振り返りの活動」は、2年生での評価が大きく上昇しました（前期よりも6%上昇）。「5教科の授業が分かる」と「課題の解決に向けて」は、全学年の評価が上昇し、わずかではありますが、後期は前期に比べ全体的に向上しました。



【今後の方策】

- どの授業でも、引き続き「学習課題」と「まとめ」が一体化した授業に取り組みます。また、「何を学んだのか」や「何が身に付いたのか」など、学習内容の振り返りに重点を置くことで、一人一人の学びをさらに深めていきます。
- ICTの効果的な利用方法や対話的な学びについての研修を深め、生徒が「分かる」・「できる」を実感できる授業づくりを目指していきます。

2. 社会性の育成

学習や生活のめあてをもって、毎日過ごしています。		1年生	2年生	3年生	全体	評価	
1	「あてはまる」「ややあてはまる」	後期	78%	74%	80%	78%	A
	【評価基準】	前期	78%	70%	75%	74%	B
	A：75%以上 C：70%以下						
自分にはよいところがあります。		1年生	2年生	3年生	全体	評価	
2	「あてはまる」「ややあてはまる」	後期	83%	72%	82%	80%	A
	【評価基準】	前期	80%	64%	78%	74%	C
	A：80以上 C：75%以下						
やっていることを先生や友達に認められて、うれしいと感じることがよくあります。		1年生	2年生	3年生	全体	評価	
3	「あてはまる」「ややあてはまる」	後期	92%	89%	92%	91%	A
	【評価基準】	前期	90%	83%	91%	88%	B
	A：90%以上 C：85%以下						
学校生活で、友達と力を合わせて学習したり、活動したりしています。		1年生	2年生	3年生	全体	評価	
4	「あてはまる」「ややあてはまる」	後期	96%	95%	97%	96%	A
	【評価基準】	前期	97%	92%	95%	95%	A
	A：95%以上 C：90%以下						

【結果から】

どの項目もA評価でした。特に2年生の肯定的評価はどの項目も大きく向上しています。「自分にはよいところがあります」や「友達と力を合わせて学習したり、活動したりしている」は、授業や学校行事などで他との関わりを通して、互いに良好な関係が築かれていると考えています。また、「やっていることを認められてうれしい」は、授業における対話的な学びの中で多様な考えに触れる機会が増えていることで、互いに認め合い高まろうとする風土が育ってきていると考えています。

【今後の方策】

- 「よりよい明日のために」や「いいとこみつけ」の活用や定期的な教育相談の実施により、生徒の良きや悩みを職員間で共有し、多角的・総合的に生徒の成長した点や良いところを賞賛することで、達成感や自己有用感をもたせる取り組みを継続して行います。
- キャリアノート（轍：わだち）の活用を通して、なりたい自分の姿を具体的にイメージし、目標や見通しをもって活動に取り組めるような場面で支援を行っていきます。



3. 家庭学習の習慣化

1	宿題をきちんとやっています。		1年生	2年生	3年生	全体	評価
	「あてはまる」「ややあてはまる」	後期	95%	84%	92%	90%	C
	【評価基準】	前期	97%	85%	92%	92%	B
A：95%以上 C：90%以下							
2	宿題以外にも自主的に家で勉強しています。		1年生	2年生	3年生	全体	評価
	「あてはまる」「ややあてはまる」	後期	76%	63%	88%	76%	B
	【評価基準】	前期	80%	66%	82%	76%	B
A：80%以上 C：75%以下							
3	平日、家では、1日にどれくらい勉強していますか。（塾などの学習はふくめ、習いことはのぞく）		1年生	2年生	3年生	全体	評価
	「1時間以上」	後期	73%	52%	76%	68%	B
	【評価基準】	前期	70%	53%	62%	61%	C
A：70%以上 C：65%以下							
4	東新タイムで立てた学習計画に家庭で取り組んでいます。		1年生	2年生	3年生	全体	評価
	「できている」「まあまあできている」	後期	86%	72%	79%	79%	B
	【評価基準】	前期	86%	69%	82%	78%	B
A：80%以上 C：75%以下							

【結果から】

「宿題をきちんとやっている」はC評価となりました。「宿題以外にも自主的に勉強する」は、前期と同程度ですが、1・2年生での低下が見られます。「平日1時間以上勉強する」は、3年生で大きく上がりました（3年生の平日2時間以上勉強するは、前期の17%に対して後期は33%）。学年別では、前期と比べ2年生の学習時間が伸び悩んでいます。「東新タイムで立てた学習計画に家庭で取り組んでいる」は、取組が定着しつつあります。

【今後の方策】

- 学習委員会を中心に、テスト前以外での家庭学習時間や宿題の取り組みをチェックするなど、全体にはたらきかける活動を行います。
- 終学活後の「東新タイム」（5分）を継続して行い、次の2点についてしっかりと指導をしていきたいと考えています。
 - ① 生徒が自分で家庭学習の予定を立て、その日の家庭学習開始時間を設定すること。
 - ② 宿題以外の自学の計画を立て、見通しをもって学習の積み重ねを図ること。

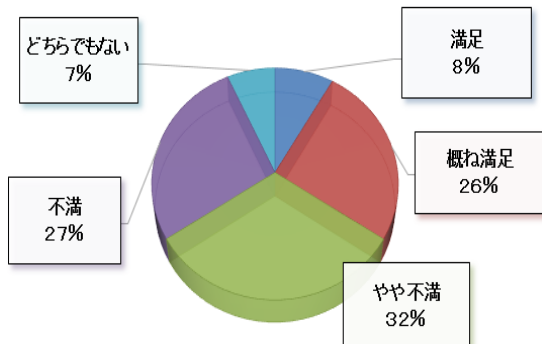


<保護者アンケート> 令和4年12月実施

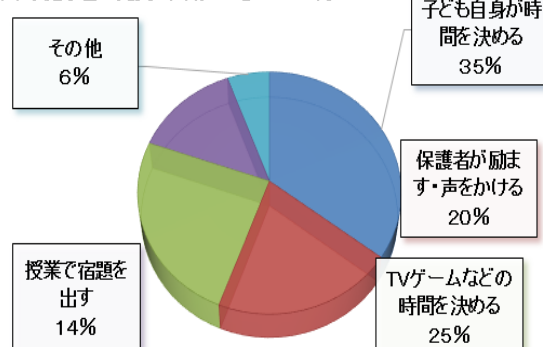
保護者アンケートにご協力をいただきありがとうございました。回答数260名と多くの方々からご回答をいただきました。

みなさまからいただいたアンケート結果およびご意見を全職員で受け止め、今後の教育活動に生かすとともに、生徒たちの成長を支えて参ります。今後も当校の教育活動にご協力とご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

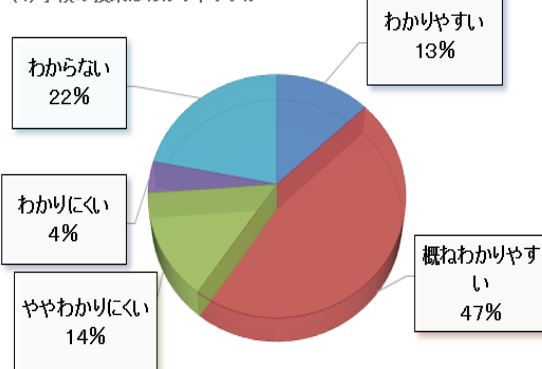
(2)お子さんの学習時間に満足していますか



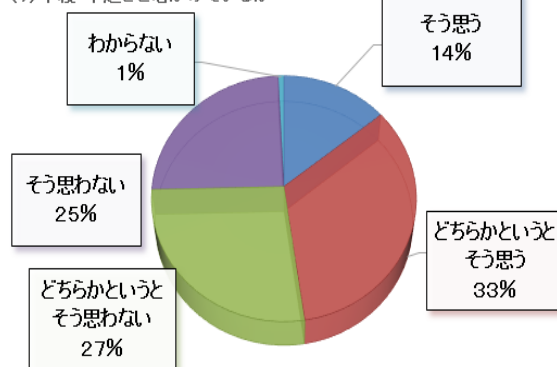
(3)家庭学習の充実に大切なと思うことは何か



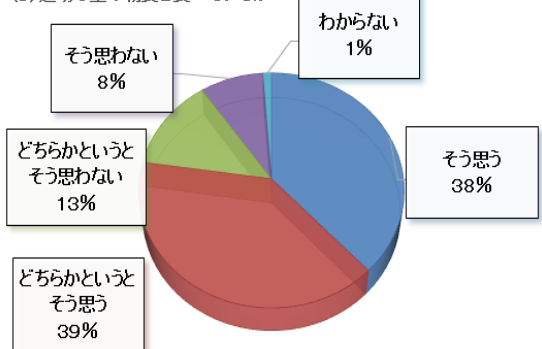
(4)学校の授業はわかりやすいか



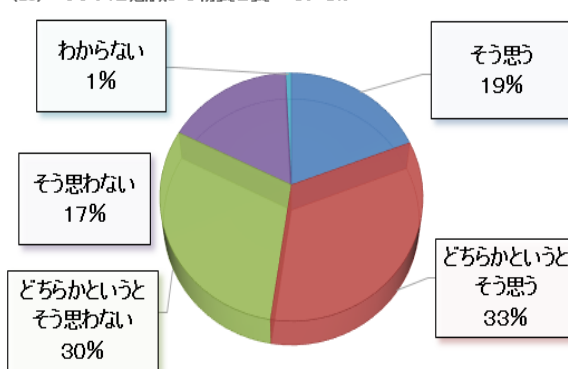
(7)早寝・早起きを心がけているか



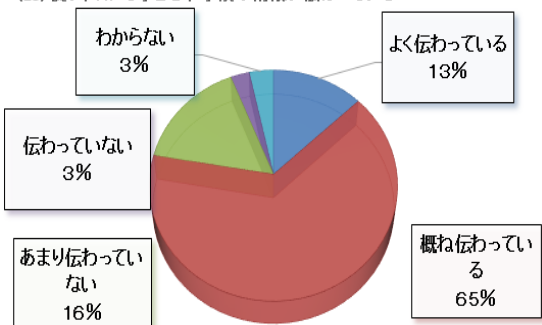
(9)適切な量の朝食を食べているか



(10)バランスを意識して朝食を食べているか



(13)便りやHPで子どもや学校の情報が伝わっている



(14)学校は生徒や保護者の思いを受け止めている

